

10月は「がん予防推進月間」

あなたを「がん」から守るのはあなた自身です

【問合わせ】保健センター ☎84-0646

国民の2人に1人ががんにかかり、亡くなる方の3人に1人は、がんが原因です。最近では、がんは生活習慣・生活環境の見直しにより予防できることがわかってきました。また、早期発見・早期治療を徹底すれば、約半数は完全に治る時代を迎えています。定期的な検診とともに、いま一度、自身の生活習慣を見直してみましよう。



肺がん

最も死亡者数の多いがんで全国で年間約7万人の方が亡くなっています。喫煙との関係が深いことが科学的に証明されていますが、非喫煙者にも発生します。1988年以来、死亡率がトップのがんです。



大腸がん

全国で年間約5万人の方が亡くなっています。死因は肺がんに次ぐ第2位のがんです。食生活の欧米化に伴って、患者数は増え続けています。飲酒との関係も指摘されています。



胃がん

日本人に多いがんです。死因は大腸がんに次いで第3位ですが、全国



乳がん

で年間約5万人の方が亡くなっています。最近では、ピロリ菌が重要な原因の一つと考えられています。



子宮がん

全国で年間約1万人の方が亡くなっています。壮年期の女性に多く、35歳以上の方の死亡率が増加しています。早期発見が重要で、早期に見つければ比較的治りやすいがんです。この40年間で死亡者数は5倍にも増えています。

がんのできる部位によって子宮頸がんと子宮体がんに分かれます。子宮頸がんは若い世代に増加しており、ヒトパピローマウイルスというウイルスの感染に関係が深いからです。子宮頸がんは早期に発見すれば、治りやすいがんです。

防ぐための12カ条」

感染予防

第9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療

目標

感染予防や早期治療で、発生を防ぐことのできるがんもあります。

【**肝炎ウイルス**】B型・C型肝炎ウイルスに感染した人は、肝がんになりやすいと言われてます。保健所や医療機関で、一度は肝炎ウイルスの検査を受けることをお勧めします。検査結果に応じて、かかりつけ医に受診しましょう。

【**ピロリ菌**】胃がん発生の重要な原因の一つと考えられています。日本人中高年は、感染率が非常に高いことが分かっています。かかりつけ医にピロリ菌検査などを相談してみましよう。

検診

第10条 定期的ながん検診を

目標

半田市がん検診(平成28年2月まで)を受け付けています。詳しくは6~9ページをご覧ください。

受診

第11条 体の異常に気がいたら、すぐに受診を

目標

やせる、下血がある、咳が続く、食欲がないなどの症状に気づいたら、かかりつけ医などに受診しましょう。

情報

第12条 正しいがん情報でがんを知ることから

目標

科学的根拠に基づくがん情報を得て、あなたに合ったがんの予防法を身につけましよう。

